

2012年9月24日

富士重工業 第39回 国際福祉機器展 出展概要

富士重工業は9月26日～28日に東京ビッグサイトで開催される「第39回 国際福祉機器展 H.C.R.2012」(主催:全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会)に、「SUBARU BRZ S 運転補助装置付」と「エクシーガ 2.5i EyeSight ウイングシート(リフトタイプ)」を出展します。

15回目の出展となる本年は、出かけるよろこびを一人でも多くの方にお届けするために、「出かけることが、好きになる。」をテーマとし、自操装置を装着した「SUBARU BRZ S 運転補助装置付」、助手席シートが電動で回転昇降し、先進運転支援システム「EyeSight(ver.2)」を搭載した「エクシーガ 2.5i EyeSight ウイングシート(リフトタイプ)」を出展します。

【主な企画について】

1. SUBARU福祉車両ユーザードキュメンタリー映像

出典テーマである「出かけることが、好きになる。」の下に、SUBARUの福祉車両がある生活の魅力、さらには「安心と楽しさ」を提供するSUBARUのメッセージを盛り込んだ、本展のためのオリジナル映像を放映します。

本映像は本展開催終了後に当社動画ライブラリー「CHANNEL SUBARU」(<http://www.subaru.jp/channel/>)でもご覧いただけます。

2. 先進運転支援システム「EyeSight(ver.2)」視認体験

「EyeSight(ver.2)」は、スバル独自のステレオカメラを用いた先進運転支援システムです。本展では、アイサイトのシステムがステレオカメラで撮影した映像を画像処理し、リアルタイムで物体を認識する様子を、専用モニターに映し出します。



出展車両ベース車 「SUBARU BRZ S」